

注意これは講義ノートではありません。計算のややこしいところだけをメモしたものです。

2-A 大分配関数と分配関数

定義: $Z_G = \sum_s e^{-\beta(E_s - \mu N_s)}$; s は状態の番号

Z_N は粒子数 N の
カノニカル分配関数

E, N の「値」に番号を付けることにすると、

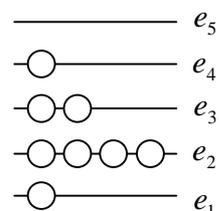
$$= \sum_{i,j} e^{-\beta(E_i - \mu N_j)} = \sum_{i,j} e^{\beta \mu N_j} e^{-\beta E_i} = \sum_j e^{\beta \mu N_j} \left(\sum_i e^{-\beta E_i} \right) = \sum_j e^{\beta \mu N_j} Z_{N_j} = \sum_N e^{\beta \mu N} Z_N$$

2-B 粒子数表示 量子統計のエッセンス

「エネルギー e_i を持つ粒子が n_i 個」というふうに状態を表す。

粒子は全く区別しない。 $E = \sum_i n_i e_i$, $N = \sum_i n_i$

c.f. これまでの表し方「 i 番目の粒子のエネルギーが e_i 」



状態の数 $W=5$ の例

$$(n_1, n_2, n_3, n_4, n_5) = (1, 4, 2, 1, 0)$$

2-C 粒子数表示における大分配関数

$$Z_G = \sum_i e^{-\beta(E_i - \mu N_i)} = \sum_{N=0,1,2,\dots} e^{\beta \mu N} Z_N = \sum_{N=0,1,2,\dots} e^{\beta \mu N} \sum_{n_0+n_1+n_2+\dots+n_W=N} e^{-\beta(n_0 e_0 + n_1 e_1 + n_2 e_2 + \dots + n_W e_W)}$$

二重和の取り方: N を固定して、その中で全ての組み合わせ (n_0, n_1, n_2, \dots) で和を取る

結局、全ての n_i は取り得る値全てを取るはず。

よって、 $\sum_{N=0,1,2,\dots} \sum_{n_0+n_1+n_2+\dots+n_W=N} = \sum_{n_1} \sum_{n_2} \sum_{n_3} \dots \sum_{n_W}$ として良い。

但し、 W は状態の数。二準位系なら 2、調和振動子なら ∞ 。

$$Z_G = \sum_{n_1} e^{-\beta(e_1 - \mu)n_1} \sum_{n_2} e^{-\beta(e_2 - \mu)n_2} \sum_{n_3} e^{-\beta(e_3 - \mu)n_3} \dots \sum_{n_W} e^{-\beta(e_W - \mu)n_W}$$

・フェルミオン: $n_i = 0 \sim 1$

$$Z_G = (1 + e^{-\beta(e_1 - \mu)}) (1 + e^{-\beta(e_2 - \mu)}) \dots (1 + e^{-\beta(e_W - \mu)})$$

・ボソン: $n_i = 0 \sim \infty$

$$Z_G = (1 + e^{-\beta(e_1 - \mu)} + e^{-2\beta(e_1 - \mu)} + \dots) (1 + e^{-\beta(e_2 - \mu)} + e^{-2\beta(e_2 - \mu)} + \dots) \dots (1 + e^{-\beta(e_W - \mu)} + e^{-2\beta(e_W - \mu)} + \dots) \\ = (1 + e^{-\beta(e_1 - \mu)})^{-1} (1 + e^{-\beta(e_2 - \mu)})^{-1} \dots (1 + e^{-\beta(e_W - \mu)})^{-1}$$

2-D 平均の粒子数 フェルミ(Fermi)分布関数とボース(Bose)分布関数

グランドカノニカル分布における全エネルギー E_s , 全粒子数 N_s の状態 s の出現確率

$$P_s = e^{-\beta(E_s - \mu N_s)} / Z_G$$

状態 s の粒子数表示を (n_1, n_2, n_3, \dots) とすると、

$$P_s = P(n_1, n_2, n_3, \dots) = e^{-\beta(e_1 - \mu)n_1} e^{-\beta(e_2 - \mu)n_2} e^{-\beta(e_3 - \mu)n_3} \dots / Z_G$$

よって、 i 番目のエネルギー準位の占有数 n_i の平均 $\langle n_i \rangle$ は、

$$\langle n_i \rangle = \frac{\sum_{n_1} \sum_{n_2} \dots \sum_{n_i} \dots \sum_{n_W} e^{-\beta(e_1 - \mu)n_1} e^{-\beta(e_2 - \mu)n_2} \dots e^{-\beta(e_W - \mu)n_W} n_i}{\sum_{n_1} \sum_{n_2} \dots \sum_{n_W} e^{-\beta(e_1 - \mu)n_1} e^{-\beta(e_2 - \mu)n_2} \dots e^{-\beta(e_W - \mu)n_W}}$$

$$= \frac{\sum_{n_i} e^{-\beta(e_i - \mu)n_i} n_i}{\sum_{n_i} e^{-\beta(e_i - \mu)n_i}} \quad \text{和の範囲} \begin{cases} \text{Fermion} & n_i = 0, 1 \\ \text{Boson} & n_i = 0, 1, 2, \dots \end{cases} \quad \begin{cases} \left(e^{\beta(e_i - \mu)} + 1 \right)^{-1} & \text{Fermion} \\ \left(e^{\beta(e_i - \mu)} - 1 \right)^{-1} & \text{Boson} \end{cases}$$

2-E おまけ— 統計力学で扱うこと

- (ア) 恒星の色にはなぜ赤や白、青白があるのか
- (イ) 物体を熱するとなぜ、まず赤色に、ついで白色に光るのか
- (ウ) 金属中の自由電子はどうやって電気を運ぶのか
- (エ) 金属中の自由電子は理想気体と同じように自由に動いているのか
- (オ) なぜ磁石(強磁性体)は熱すると磁石でなくなる(常磁性体)のか
- (カ) 磁石の強さ(磁化)は温度によってどう変化するか
- (キ) 物質はどうやって熱を貯えるのか(比熱)
- (ク) 比熱は温度によって変わるのか
- (ケ) 量子力学で習ったようにエネルギー準位が離散的だと統計力学は変わるか
- (コ) フェルミ粒子(個々に識別できない。同じ状態を取らない)の振る舞いは?
- (サ) ボース粒子(個々に識別できない。同じ状態を取る)の振る舞いは?
- (シ) 古典粒子(個々にどれがどれか識別でき、同じ状態を取る)の振る舞いは?
- (ス) 固体の中にある「粒子もどき」とは(フォノン、マグノン、etc.)?
- (セ) ヘリウムはなぜ大気圧下ではいくら冷やしても液体(量子液体)なのか?
- (ソ) スピンのエントロピー($2S+1$)は絶対零度でどうなるの?
- (タ) なぜ相互作用があると難しくなるのか
- (チ) 有限温度 $T>0$ で多数の粒子はどういう状態をとるか